

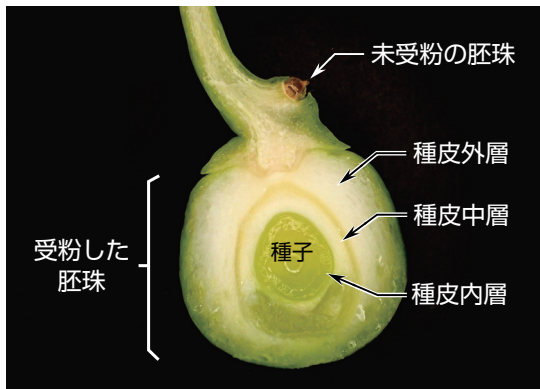
自然を
楽しむ

73

「裸子のいわれ」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)



イチヨウは“裸子植物”と知っていても理解しにくいですね。そこで全断面を作成してみました。

写真は、柄の先に2個の種胚を露出して付けた銀杏です。1つは受粉して種子(可食部)を形成しつつあり、右上は受粉できなかった種子の素です。

種子を包む果肉は無く、三層に分化した果皮の外層は、皆に嫌われる“臭い果肉もどき”、中層は“硬い殻”、内皮は種子を被う“茶色の薄皮”に発育します。不思議な構造ですが、確かに裸子ですね！